



CREATIVE Management Consulting Co., Ltd.
日本国公認会計士 金澤 厚



第128回 タイ国 ビジネス事例 不正・誤謬・不備事例 ⑩

今回も引き続き不正事例をご紹介します。

会計処理の不正、会社財産に関する不正、会計処理方法や税務上の処理方法の誤り(=誤謬)、内部統制に関する不備(=会社のチェック体制の不備)などは、日本のみならず、タイにおいても様々なケースが発生していると考えられます。

事例をご紹介しますながら、会社として、管理者としてどういった点に注意すべきなのか、どういった対応方法が必要なのか考えてみましょう。

(事例の概要)

今回は、子会社買収に伴い買収先の海外子会社で発生した不正事案をご紹介します。

子会社買収に際しては買収先の全体的な管理レベルを把握してデューデリジェンスをどこまで行うか、社内管理体制の概括的な検証をまず行うなどして検討するべきであった事案です。

〈まとめ〉

- ・不正の種類: 買収先の海外子会社の社員による不正
- ・事案の内容: 現金管理担当者による現金の横領。

(対象会社K社の概要)

K社は中古ブランド品の買取り・販売を行っている会社です。中古品の買取り・販売を行う業界の中でもブランド品の取り扱い量は最大の会社です。会社の設立は1979年で、2018年前後から海外出店を強化しています。2022年3月期の売上高は711億円、経常利益は37億円。

(B社子会社化の経緯)

K社は国内で同業のB社から支援を求められ、新設したKB社に吸収分割する方法によりB社を実質的に子会社化しました(効力発生日:2019年12月3日)。(以下、新しい子会社をKB社、分割された会社を旧B社とします)

旧B社を子会社化するまでの経緯は以下の通りです。

- ・2019年9月20日:旧B社を支援するスポンサー支援基本契約書の締結日
- ・2019年10月25日:同最終契約締結日

K社公表資料によると、直前決算期のB社の売上高は約144億円ありましたが、純資産は約△30億円と債務超過状態でした。

また、2019年10月25日時点でも分割する資産、負債項目の金額は未確定とのことで、旧B社の実質的な資産、負債の状況、株式非上場会社であるB社の社内管理体制の状況に関して詳細な検証が行われていなかったように見受けられます。

(不正行為発覚の経緯・不正行為の概要)

K社は旧B社を実質子会社化後、翌2020年1月、香港子会社(以下、B-HK社とします)の内部監査

を実施しました。その過程で経理担当者(以下、行為者 X とします)へのヒアリングを行い、経理担当者が資金を着服していたことが発覚しました。

これを受けてK社は直ちに調査委員会を立ち上げ、調査を開始。2020年2月14日には調査報告書を受領し、その調査結果などが公表され、併せて業績予想の下方修正も公表されました。

調査結果によれば、円貨ベースでの損失発生金額は約83百万円となることが判明しました。当該損失は2020年3月期第3四半期決算に貸倒引当金として計上されました。

(原因分析・背景分析)

調査の結果、発生原因やその背景として以下の各点が指摘されました。

① 旧 B 社には十分な内部管理体制が構築されていなかった

旧 B 社は非上場で、管理体制を構築するという視点が全くなく、担当者任せの管理を行っていたことが判明した。海外子会社についても同様で、現地任せ、担当者任せとなっていた。

② 行為者 X は入社後 10 年間にわたり経理事務を担当、現金を単独で管理

不正発覚時は経理責任者となっていて、経理事務全体を取りまとめるポジションにあった。現金についても行為者 X が単独で管理し、休暇時も保管場所のカギを本人が保持していた。

③ 中古ブランド品の買取りは現金決済されることから店舗間の資金移動など頻繁に発生

香港子会社 B-HK 社では、店舗からの指示に基づき買取り用現金の振り替え、手許現金の管理、小口現金の受け払いなどの事務が発生するが行為者 X が全て管理していた。

こうしたなか、中古ブランド品買取り資金の一部を横領し、中古品を買い取ったように帳簿上の操作をして、齟齬が発生しないようにしていた。

(再発防止策・この事例の示唆)

当該事案に対して調査報告書は再発防止策として以下の点を提言しています。

① B-HK 社の業務運営体制の再構築を進める

内部管理体制、チェック体制の見直しを進め、必要に応じK社本体からの人材投入も検討する。

② 日本本社と海外子会社との連携を強化し、グループ共通の管理体制、モニタリング体制を構築

日本本社と同程度の内部管理体制とするよう連携を強化し、グループ共通の管理体制、定期的に管理情報を収集し、チェックを行うモニタリング体制の構築を進める。

③ 現物管理の徹底。現金の管理方法の点検・再構築と共に中古ブランド品の在庫管理の徹底

現金に関する業務はダブルチェックを行い、定期的な現金実査を行う。在庫管理システムを検証し、問題点の有無を再度検証する。併せて、定期的な現品棚卸しを行い、実在性を検証する。

④ 役職員へのコンプライアンス教育の徹底

役職員へのコンプライアンス研修を実施し、社内ルールの厳守を徹底する。

中古品の買取り・販売を行うリユース業界は、フリマアプリやシェアリングエコノミーの台頭、SDGsの観点などから注目を受けるようになっていきます。そうしたなか、K社は取扱量の拡大を目指し、事業拡大を図っているところでした。こうした時に支援を求めてきたB社は出店地域が重なっていないこと、経験豊富な人材を抱え、一定の顧客基盤を有していることから、B社事業の吸収はK社の今後の事業拡大に寄与することが見込まれた。こうした背景から買収を急いだ結果、買収先企業の資産・負債の検証が疎かになってしまったと思慮されます。

CREATIVE MANAGEMENT CONSULTING Co., LTD.

会計、税務に関する各種相談、顧問、タイに進出する日系中堅企業を強力に支援いたします。

1. 税務診断、2. M&A サポート、3. スタートアップサービス、4. 管理支援サービス

【連絡先】日本国公認会計士 金澤 厚

Mobile: +66 8 4708 2408 E-mail: kanazawa@cmcs.co.th